

# ノロウイルスを消毒する



## 準備

- \* ノロウイルスは感染力が強く、ウイルスが多量に含まれた感染者のおう吐物やふん便の適切で迅速な処理が、まん延予防対策において、非常に大切です。
- \* いつでも誰でも、おう吐物やふん便の処理対応ができるよう、施設内で、マスクや手袋、消毒剤等の保管場所、消毒剤の作成法使用法を、周知徹底しておきましょう。

## 消毒のポイント

- \* ノロウイルスの消毒方法で、効果があるのは、**次亜塩素酸ナトリウム**と**加熱**です。
- \* 加熱消毒は、**熱湯(85℃以上)**で**1分以上**加熱しましょう。
- \* 手指は流水と石けんできれいに洗い流しましょう。
- \* アルコールや逆性石けんは、あまり効果がありません。

## 使用する消毒液(次亜塩素酸ナトリウム溶液)の使用場所と作り方

	0.1%消毒液	0.02%消毒液
使用場所	おう吐物・ふん便	調理器具・床、トイレのドアノブ・便座・衣類の消毒(汚染の強い場所)
作り方:例 次亜塩素酸ナトリウム 約5%液 (家庭用塩素系漂白剤)	 <p>ペットボトルのキャップに軽く3杯の次亜塩素酸ナトリウム液を入れ、水道水で500mlに希釈し使用します。</p>	 <p>ペットボトルのキャップに軽く2杯の次亜塩素酸ナトリウム液を入れ、水道水で2Lに希釈し使用します</p>

ペットボトルの蓋の容量は、5mlです。原液が手に付かない様に、ここでは、“軽く3杯(10ml)”“軽く2杯(8ml)”と表現しています。

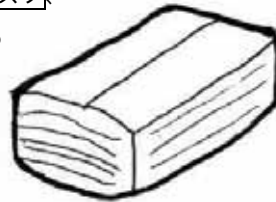
### (使用上の注意)

- ・ **原液が皮膚又は衣類に付いた場合**、直ちに水で洗い流しましょう。
- ・ **鉄製又はメッキの物**は、サビたり変色するので使用しないこと。
- ・ **合併浄化槽**の施設は、そのまま消毒液を流すと、浄化槽の中の有益な微生物を殺してしまうこととなりますので、十分に希釈して流しましょう。
- ・ **原液の保管**は、冷暗所で子どもの手の届かない場所にしましょう。
- ・ **混ぜると危険です**。他の薬剤(強酸性の薬剤 例:トイレ洗浄剤 など)と混ぜると強毒のガスを発生します。
- ・ **きれいに洗浄した**ペットボトルを使用しましょう。
- ・ **作成した消毒剤**は、キャップし冷暗所に保管すれば1ヶ月程度使用できますが、**誤飲・誤用を防止する注意書きと消毒剤の種別と作成日を明記**しておきましょう。
- ・ **薬店などで消毒剤として市販されている次亜塩素酸ナトリウム溶液の塩素濃度**は、**5%**と**10%**があります。

すので、必ず確認して使用しましょう。

### 準備するもの

吐物や便を片付ける時は、**マスク**、**ビニール手袋**を用いましょう



ペーパータオルなど  
消毒液を浸すことのできるもの

吐物や便またはそれらで汚染されたものを密封できるもの



その他：長靴やエプロン（ガウン）等

### おう吐物やふん便の取扱い

**注意：おう吐物は、想像以上に広範囲に飛び散っています！！**

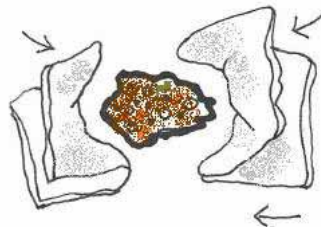
**食べ物のカスなどがある場合は、消毒液の消毒効果が著しく低下します。**0.1%消毒液を浸したタオル等で拭き取りましょう。拭き取った後のタオル等はビニール袋に入れましょう。

### おう吐物やふん便が飛び散った床など



おう吐物や便のまわりに、片付ける以外の人  
が近づかないようにしましょう。  
おう吐物は想像以上に広範囲に飛び散  
っていますので、床等の  
消毒の場合は、後で  
消毒できる長靴を着  
用します。

0.1%消毒液を浸したタオル等で、周囲  
から包み込むように静かにぬぐい取りま  
す。



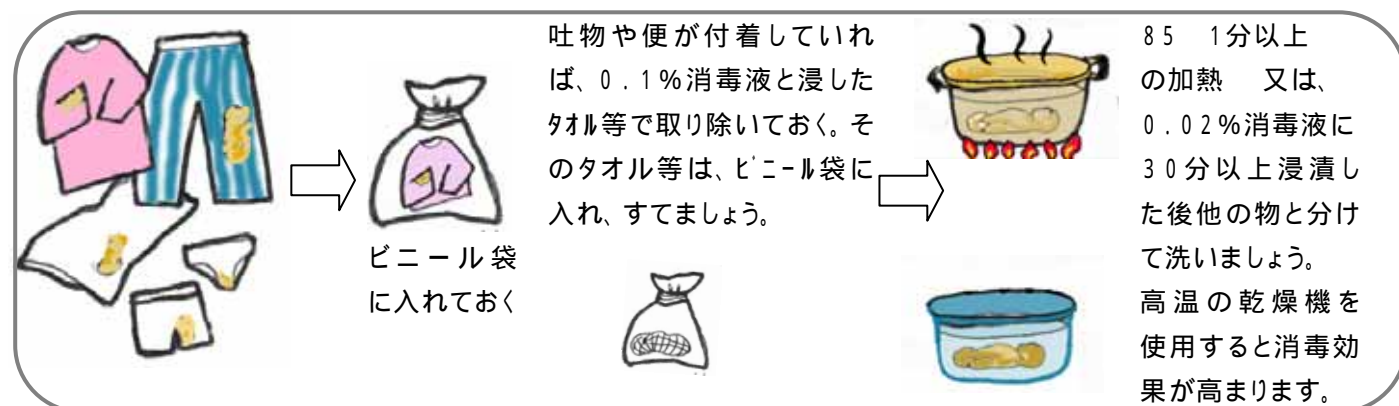
使用したタオル等は、すぐにビニ  
ール袋へ処分します。



拭き取った後の床等は、0.02%消  
毒液で拭きます。想像以上にウイ  
ルスが飛び散っていますので、周  
囲を広範囲に消毒しましょう。  
10分程度放置後、消毒部分を  
水ぶきします。



## おう吐物やふん便が付着した衣類・シーツ・タオルなど



吐物や便が付着していれば、0.1%消毒液と浸したタオル等を取り除いておく。そのタオル等は、ビニール袋に入れ、すてましょう。

ビニール袋に入れておく

85℃ 1分以上の加熱 又は、0.02%消毒液に30分以上浸漬した後他の物と分けて洗いましょう。高温の乾燥機を使用すると消毒効果が高まります。

## おう吐物・便が付着した布団・ベットなど

すぐに洗濯できない物は、よく乾燥させ、スチームアイロンや布団乾燥機を使用すると効果的です。

## その他

### トイレの便座・ドアノブ・手すりの消毒



トイレのドアノブ・便座、施設の床・手すりは、定期的に清掃し、0.02%消毒液を浸したタオルで拭き、10分後水ふきします。



部屋は、定期的に換気しましょう。

### 有症者が使用した洗面所の消毒

- ・ おう吐症状のある方の、口の中には、**おう吐後も長期間ウイルスが残っていることがあります**ので、症状のある間、おう吐した後は、しっかりうがいをしましょう。
- ・ おう吐された後の洗面所はもちろん消毒が必要ですが、うがいの後の洗面所も忘れずに流水で洗浄した後に、0.02%の消毒剤を用いて消毒しましょう。

### 作業に使用した手袋、マスク、長靴などの消毒

消毒作業に一度でも利用した手袋、マスク、ガウン又はエプロン等は、汚染された表面部分に触れないように外し、ビニール袋に密封し、廃棄するか、きちんと消毒して再利用しましょう。